

日本における 総合教育と 関西学院の未来

＜総合司会＞ 矢倉達夫
(関西学院大学総合教育研究室長 理工学部教授)

日時：2007年11月9日(金)17:00～
場所：関西学院会館しセプションホール

シンポジウム
「Education for Life ～地域連携教育の推進～」

本研究室は、オープンセミナーや総合コースを通じて、「西宮学入門」「三田学入門」等の公開講座、授業を提供してきた。2006年度からは上ヶ原地域との連携を実践し、大学キャンパスの解放、映画鑑賞会なども行ってきた。その基盤に立って、本年度からは「学校と地域とのネットワーク～家庭・学校・地域社会の連携・融合～」というプロジェクト研究を行っている。

ここに開設三十五周年を迎えるにあたり、『日本における総合教育と関西学院の未来』を大テーマの下、新たなテーマを発信すべく、「Education For Life—地域との連携を考える—」と題するシンポジウムを持つことにした。

関西学院を代表してグローバル院長。そして、我々と同様キリスト教主義教育を基本理念とし、生涯学習に取り組む先達、青山学院大学の武藤元昭学長、活水女子大学の奥野政元学長を迎え、このテーマについて共に考えたい。学の内外を問わず、ぜひご参加ください。鶴首してお待ちいたしています。

＜講師＞



青山学院大学学長
武藤元昭



活水女子大学学長
奥野政元



関西学院院長
ルース・M・グーベル

＜コーディネータ＞ 森田雅也
(関西学院大学総合教育研究室副室長 文学部教授)

日時：2007年11月30日(金)14:00～
場所：関西学院会館しセプションホール

講演1 「石原都政と教育改革」
大嶽秀夫 (同志社女子大学教授)
講演2 「高等教育改革の理念型としてのアメリカの大学」
谷聖美 (岡山大学法学部部長)

パネルディスカッション
「高等教育政策と日本の大学の生存戦略」

教育改革の波は大学教育の現場にも大きな影響を与え、各大学はそれぞれの生存戦略を真剣に模索している。しかし改革の一方で研究や教育をめぐる環境が改善されてきたとはいいがたく、教育や研究の現場においては疲労感のみ強くなっている感がある。

以上の現状をより大きな視点から捉えなおすことが本企画の目的である。具体的には1980年代に端を発する教育改革のベクトルを特に高等教育に関して検証し、政策決定の学力を踏まえた上で、あらためてわれわれの向うべき方向性について考えたい。

＜講師・パネリスト＞



同志社女子大学教授
大嶽秀夫



岡山大学法学部部長
谷聖美



関西学院大学法学部教授
橋本信之

＜コーディネータ＞ 山田真裕
(関西学院大学総合教育研究室副室長 法学部教授)

講演会終了後17:00より懇親会(会費制)を予定しています。

総研サロン
eラーニングのユニバーサル
デザイン化によるFPO効果
話題提供者：大阪大谷大学教授
大倉孝昭氏
日時：2007年10月26日(金)17:00～
場所：関西学院大学総合教育研究室

